

II-6 勤務校のICT支援員の配置状況についてお答えください。 〈4, 5, 〉と回答した方は、II-7へお進みください。

- 1, ICT支援員が常駐している 2, ICT支援員支援が定期的にある 3, ICT支援員の支援は不定期である
4, ICT支援員の配置・訪問はない 5, わからない 6, その他 _____

II-6

II-6① ICT支援員の訪問があると回答した方にお尋ねします。支援員の訪問頻度について教えてください。

- 1, 月に1回 2, 月2回程度 3, 週に1回 4, 週に2回以上 5, 常駐(週5日) 6, その他 _____

II-6①

II-6② ICT支援員の訪問があると回答した方にお尋ねします。支援員の訪問時間(学校滞在時間)について教えてください。

- 1, 1~2時間 2, 半日(4時間程度) 3, 全日(8時間) 4, その他 _____

II-6②

II-6③ ICT支援員へ依頼している支援内容をお答えください。*複数回答可 該当数字に○

- 1, 授業支援 2, 校内研修支援 3, 環境整備支援(トラブル対応を含む) 4, 校務支援 5, その他 _____

II-7 全員の方にお聞きます。授業支援についてどの様な支援があると助かりますか*複数回答可 該当数字に○

- 1, 授業前後の児童・生徒の機器の準備・片付けの支援 2, 授業中の児童・生徒への操作支援 3, 授業中の障害トラブル対応
4, 教材作成支援 5, ICT機器のメンテナンス 6, 教員への操作支援 7, その他 _____

II-8 上記以外で具体的な支援希望がある方はご記入ください。

[_____]

§ III 学習用端末についてご回答ください。一児童・生徒(学習者)用端末に関する質問ですー

III-1 現在整備されている学習用端末について、OSを選択してください。

- 1, Microsoft Windows 端末 2, Google Chrome OS 端末 3, iPadOS 端末 4, その他 _____

III-1

III-2 家庭科の授業で使用する学習用ツール(ソフトウェア)についてお答えください(複数回答可 該当数字に○)。

- 1, ワープロソフト 2, 表計算ソフト 3, プレゼンテーションソフト
4, 写真・動画撮影ソフト(QRコード読み取り機能) 5, 動画編集ソフト 6, 地図作成ソフト
7, ファイル共有機能ソフト 8, アンケート機能 9, 電子メール 10, プログラミング教材
11, インターネットブラウザ 12, その他 _____

III-3 今までに以下の技術・システムを活用した場面がありましたか(複数回答可 該当数字に○)。

- 1, 遠隔システムの活用(合同授業・専門家の活用・地域の人々との交流など) 2, デジタル教科書・教材
3, 協働学習支援ツール(課題の一斉配布・画面共有など) 4, AR・VR技術の活用 5, AIを活用したドリル
6, センシング技術の活用 7, 活用はしていない 8, その他 _____

III-4 家庭科の授業で授業支援システムを利用していますか。〈していない〉と回答した方は、IVへお進みください。

- 1, している 2, していない

III-4

III-4① 授業の中でよく使用するシステムについてそのツール・サービス・アプリケーションの名称を教えてください。(複数回答可 該当数字に○)

- 1, ロイロノート 2, Classi(クラッシー) 3, Microsoft Teams 4, Google classroom 5, Moodle(ムードル)
6, ミライシード 7, その他 _____

III-4② 授業支援システムの中で主に使用している内容をお答えください(複数回答可 該当数字に○)。

- 1, 児童・生徒の学習状況の確認や画面共有など
2, 児童・生徒同士のノートの共有・同時編集/課題プレートの使用
3, ひとりひとりの進度に合わせた問題の出題・復習用材の提供など
4, その他 _____

III-4③ ICTを活用した学習活動で、使用頻度の高いモノをお答えください(複数回答可 該当数字に○)。

- 1, 学習支援ソフトを活用し画面共有を行う 2, 調べ学習 3, 思考ツールの活用 4, グループによる意見共有
5, プレゼンテーション機能の活用 6, その他 _____

III-4④ 授業支援システムを利用するメリットをお答えください(複数回答可 該当数字に○)。

- 1, 課題プレートを使用することで授業準備の効率化につながる
2, 授業の進行にあたり、児童生徒の進捗状況の把握に役立つ
3, コメント機能の活用により、授業のブラッシュアップに役立つ
4, 評価を効率的に行うことができる
5, 遠隔授業が簡単に実施できる
6, その他 _____

§ IV 家庭科における ICT 活用に関する研修についての質問です。

IV-1 ICT の活用に関する研修会の開催状況について伺います。(該当するものすべてに○をつけて下さい)

教科に限らず ICT の活用に関する研修がありましたか(過去3年以内の研修についてお答え下さい)。

- 1,都道府県教育委員会主催の研修 2,市(区)町村主催の研修 3,学校主催の研修 4,研究会主催の研修
5,民間(企業・NPO等)主催の研修 6,各種学会主催の研修 7,国・独立行政法人主催の研修 8,わからない
9,その他

IV-2 〈家庭科の授業〉に関する ICT 活用研修会の開催状況について伺います(過去3年以内の研修の有無についてお答えください)。

- 1,都道府県教育委員会主催の研修 2,市(区)町村主催の研修 3,学校主催の研修 4,教科研究会主催の研修
5,民間(企業・NPO等)主催の研修 6,各種学会主催の研修 7,国・独立行政法人主催の研修 8,わからない
9,その他

IV-3 〈家庭科の授業〉に関する ICT 活用研修会の受講状況について伺います(過去3年以内の研修の有無についてお答えください)。

- 1,都道府県教育委員会主催の研修を受講した 2,市(区)町村主催の研修を受講した 3,学校主催の研修を受講した
4,教科研究会主催の研修を受講した 5,民間(企業・NPO等)主催の研修を受講した 6,各種学会主催の研修を受講した
7,国・独立行政法人主催の研修を受講した 8,研修会には参加せず、個人的に習得している。
9,その他

IV-4 参加した研修会の内容について簡単に教えてください。

IV-5 ICT の活用に関する研修に関して、希望がありましたらご記入ください。

§ V 家庭科における授業実践や活用・指導の状況について

V-1 教材研究・指導の準備・評価での活用状況についてお答えください。(複数回答可 該当のものすべてに○をつけてください)

- 1,教育効果を上げるために、コンピュータやインターネットなどの利用場面を計画し活用している。
2,授業で使う教材や必要な資料などを集めるためにインターネットを活用している。
3,保護者や地域との連携に必要な情報を発信するためにインターネットなどを活用している。
4,授業に必要なプリントや提示資料の作成のために、ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト等を活用している。
5,学習状況を把握するために、作品・レポート・ワークシートなどを PC を活用し記録・整理し評価に活用している。
6,活用していない。 7,その他

V-2 ICT を活用した指導状況についてお答えください。(複数回答可 該当のものすべてに○をつけてください)

- 1,学習者の興味・関心を高めたり、課題を明確につかませたり、学習内容の的確なまとめのために PC や提示装置を活用し、資料などを効果的に提示している。
2,学習者にお互いの意見・考え方・作品などを共有させたり、比較検討させたりするために PC や提示装置を活用して学習者の意見などを効果的に提示している。
3,知識の定着や技能の習熟をねらいとして、学習用ソフトなどを活用して、繰り返し学習する課題や学習者の一人一人の理解・習熟の程度に応じた課題などに取組ませている。
4,グループで話し合っって考えをまとめたり、協働してレポート・資料・作品などを制作したりするなどの学習の際に、PC やソフトウェアなどを効果的に活用させている。
5,活用していない。 6,その他

V-3 学習者の ICT 活用の指導状況についてお答えください。(複数回答可 該当のものすべてに○をつけてください)

- 1,学習活動に必要な、PC などの基本的な操作機能（文字入力・ファイル操作など）を学習者自身が身に付けることができるように指導できる。
- 2,学習者が PC やインターネットなどを活用し、情報収集や、目的に応じた情報や信頼できる情報を選択できるような指導ができる。
- 3,学習者がワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト等を活用して調べたことや自分の考えを整理したり、文章・表・グラフ・図などにわかりやすくまとめたりすることができるような指導ができる。
- 4,学習者がお互いの考えを交換し、共有して話し合いなどができるように、PC やソフトウェアなどの活用することを指導できる。
- 5,該当なし 6,その他 _____

V-4 情報活用の基盤となる知識や態度に関する指導状況についてお答えください。(複数回答可 該当のものすべてに○をつけてください)

- 1,学習者が情報社会への参画にあたって自らの行動に責任を持ち、相手のことを考え、自他の権利を尊重して、ルールやマナーを守って情報を集めたり発信できるよう指導している。
- 2,学習者がインターネットなどの利用をする際に、反社会的な行為や違法な行為、ネット犯罪などの危険を適切に回避したり、健康面に留意して適切に利用したりできるよう指導している。
- 3,学習者が情報セキュリティの基本的な知識を身に付け、パスワードを適切に設定・管理するなど PC やインターネットを安全に利用できるよう指導している。
- 4,学習者が PC やインターネットの便利さに気づき、学習に活用したり、その仕組みを理解したりしようとする意欲が育まれるように指導している。
- 5,情報活用の基盤に関する指導については、家庭科の授業内で指導する機会はない。
- 6,その他 _____

V-5 今回の調査においては、家庭科における ICT の活用に関する実践を分析・整理し、会員の皆様に情報提供をしたいと考えております。ICT を活用した授業の事例などを情報提供いただける場合は以下のチェック欄にご記入ください。

- 1,情報提供ができる 2,情報提供は出来ない 3,その他 _____
- また、【調査2アンケート】にもご回答ください。

V-6 家庭科における ICT の活用について、課題なども含め、ご回答者のお考えを自由にお書き下さい。

§ VI 会員・未会員について

VI-1 あなたは全国家庭科教育協会の会員ですか。

- 1,会員である 2,会員でない（未会員である）

VI-2 ご回答者全員に報告書をお送りします。(2024 年度予定) 未会員の方は、送付先住所（所属先または自宅）をお知らせください。

〒 _____

*アンケートへのご協力、ありがとうございました。

本調査の結果は、研究の目的以外には使用しません。

また、すべて統計的に処理しますので、学校及び個人が第三者に特定されることは決してありません。

★調査用紙書面での回答送信先は、事務局まで、メールまたは FAX でご回答ください。★

アンケートの〆切は 2024 年 1 月末日

<本調査に関する問い合わせ先>

全国家庭科教育協会 事務局長 浅井 直美 研究調査担当 川村めぐみ

Tel : 03-3370-4042 FAX : 03-3370-4070 E-mail : zenkokukateika-zkk@zenkokukateika-zkk.org

